各部の計画・寸法

R5 8

建築物に関する**各部の寸法**等の記述のうち、最も不適当なものは、次のうちどれか。

1．地下駐車場の自動車の車路において、傾斜部の本勾配を1/8とし、傾斜部の始まりと終わりのそれぞれに設けた長さ 4 mの緩和勾配を1/16とした。

2．高等学校の配置計画において、400 mトラックを設けるための運動場の寸法を、120 m × 190 mとした。

3．ユニット型の介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）において、トイレを除いた定員 1 人の居室の内法寸法を、2.7m×3.6 mとした。 ✕

4．サービス付き高齢者向け住宅において、2 階以上の階に設けるバルコニーには、床仕上げ面からコンクリート躯体の立上りを 80 mm設けた上に、高さ 1,200 mmの金属製手すりを設置し、手すり子間の内法寸法を 100 mmとした

R4 8

建築物の**各部の計画**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．総合病院の改修計画において、一般病床の床面積が内法 15 m2の2床室を、小児専用の4 床室とした。

2．市民ホールに設ける300 席の小ホールの計画において、車椅子使用者用を含めて客席配置の自由度を高めるため、平土間形式とした。 ✕

3．小学校の計画において、低学年の普通教室（35人）の平面形状は、情報端末や教科書等の教材の使用に配慮した机等のサイズ拡大を考慮し、流し台を含めて 9 m×9 mとした。

4．ホテルの計画において、車椅子使用者用客室の出入口には、有効幅員が 80 cmの引戸を採用し、取っ手側に幅 45 cmの接近できるスペースを設けた

R3 8

建築物の**各部の高さ**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．百貨店のトイレ・洗面所の計画において、乳幼児用おむつ交換台の高さを、50 cmとした。 ✕ 70cm程度

2．庁舎の車椅子使用者用トイレの計画において、ドアを開閉するための押しボタンスイッチの高さを、110 cmとした。

3．ホテルのフロントカウンターの計画において、一般用の高さを 100 cmとし、車椅子使用者用の高さを70 cmとした。

4．事務所ビルの事務室の計画において、椅子に座ったときの視界を遮るためのパーティションの高さを、120 cmとした。

R2 8

建築物等の**各部の寸法等**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．公共体育館の計画において、成人用バスケットボールコートを二面配置するため、床面の内法寸法を、40 m×50 mとした。

2．屋内の公式試合用の硬式テニスコートについて、ネット上部の天井高を、13 mとした。

3．競技場の観客席の固定座席の計画において、座席の幅（1人分の間口）を45cmとし、前後間隔（椅子の背の間隔）を85cmとした。

4．屋内駐車場の計画において、一方通行の小型自動車の車路のうち、車路に接して駐車料金の徴収施設が設けられている場所で、歩行者の通行の用に供しない部分の幅員を、2.5 mとした。 ✕ 2.75m以上

R元 7

建築物の**各部の寸法等**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．地下階に駐車場を設ける大規模店舗において、売場のレイアウトと駐車場の駐車台数の効率を考慮して、柱割りを8.5 m×8.5 mとした。

2．高層事務所ビルのエレベーターの計画において、低層用 5 台と高層用 5 台とを幅 4 mの通路を挟んで対面配置とした。 ✕ 直線配置で4台まで

3．図書館の開架閲覧室における複式（両面使用型）書架の中央支柱の心々距離については、車椅子使用者同士がすれ違うことができるように、250cmとした。

4．普通乗用車を駐車させる屋内駐車場の計画において、1 台当たりの所要面積をなるべく少なくするため、直角駐車とした

H25 7

建築物の**各部の寸法**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．排気量 50cc～250ccクラスのオートバイの駐車場の計画において、平行駐車の 1 台当たりの駐車区画の寸法を、幅 90cm×長さ 230cmとした。

2．公共体育館の計画において、天井の高さを、バレーボールの公式試合が行えるよう に 15mとした。

3．図書館の開架室における書架の間隔について、車いす使用者の利用と通行に配慮し て、225cmとした。

4．事務所の階段について、昇降のしやすさに配慮し、踏面寸法をT、蹴上げ寸法をR とした場合、T＋2R＝45cm程度となるように計画した。 ✕ T＋2R＝60cm程度

H26 8

建築物の**各部の寸法**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．保育所の幼児用トイレにおいて、3～5歳児用の小便器の間隔を、55cmとした。

2．リゾートホテルの大浴場において、洗い場のカランの間隔を、隔て板を設けなかったので60cmとした。 ✕ 90～100㎝程度

3．事務所ビルの事務室において、設置するパーティションの高さを、椅子に座った状態で見通しがよくなるように、床面から110cmとした。

4．屋内の公式試合用のテニスコートにおいて、コートの中央部分(ネットの真上)の天井の高さを、15mとした。

H27 8

建築物の**各部寸法**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．小学校における児童用の階段において、踏面の寸法を 28cm、蹴上げの寸法を 15cmとし、墜落防止手摺の手摺子間の内法寸法を11cmとした。

2．劇場において、座席の幅(1人分の間口)を55cmとし、前後間隔(背もたれ相互の間隔)を95cmとした。

3．図書館において、貸出用のカウンターの高さを、子どもや車椅子使用者に配慮して、 床面から85cmとした。 ✕ 70～80㎝程度

4．自転車の駐輪場において、1 台当たりの駐輪スペースを 70cm×190cmとした。

H28 8

建築物の**各部の寸法等**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．中規模事務所ビルの計画において、基準階の共用部の主要な廊下の幅員を、2.0mとした。

2．公共体育館の計画において、成人用バスケットボールコートを二面配置するために、 床面の内法寸法を、30m×35mとした。 ✕ 45m×35m程度

3．バスターミナルの誘導車路の屈曲部の計画において、全長12m程度の大型バスの最小回転半径を、12mとした。

4．大規模量販店の計画において、売場の客用通路の幅員は、主要な避難通路を3.0mとし、それ以外の通路を1.8mとした。

H29 7

建築物の**各部の寸法等**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．乗用エレベーター(定員 24人)は、かごの内法寸法が間口2,150mm×奥行1,600mmのものを採用した。

2．建築物の主要な出入口の有効幅員を 1,500mmとし、その他の出入口の有効幅員を 1,000mmとした。

3．自走式の立体駐車場における自動車の車路において、傾斜部の本勾配を1/5とし、傾斜部の始まりと終わりのそれぞれの長さ6mの部分の緩和勾配を1/10とした。 ✕

4．多人数の成人が使用する洗面所において、隣り合う洗面器の中心間距離を850mmとした。

H30 7

建築物等の**各部の寸法**に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1．排気量250 ccクラスのオートバイの駐車場の計画において、平行駐車の 1 台当たりの駐車区画の寸法を、幅60cm、長さ230cmとした。 ✕ 幅90㎝×長さ230㎝程度

2．庁舎の車椅子使用者用受付カウンターの計画において、天板の高さを床面から70cmとし、下部に車椅子のフットレストが入るスペースを設けた。

3．多人数の成人が利用する男性用便所の計画において、隣り合うストール型小便器の中心間距離を、90cmとした。

4．事務所ビルの計画において、10席程度の会議室の内法寸法を、3.6m×7.2mとした。

- 各部の計画・寸法
  - 総合病院
  - 小学校
  - 保育所
  - 市民ホール
  - 劇場
    - 座席の幅(1人分の間口)　45㎝～50㎝程度
    - 前後間隔(背もたれ相互の間隔)　80㎝～110㎝程度
  - 百貨店/大規模店舗
    - 乳幼児用おむつ交換台の高さ　70㎝程度
    - 地下階に駐車場；柱割りを8.0m～8.5 m程度→3台駐車
    - 売場の客用通路の幅員；
      - 避難用；3.0m以上
      - それ以外；1.8m以上
  - 屋内/駐車場
    - ※歩行者の通行の用に供しない部分の幅員；2.75m
    - 1台当たりの所要面積をなるべく少なくする　直角駐車
    - オートバイの駐車場
      - 駐車区画；幅90㎝×長さ230㎝程度
      - 通路の有効幅；230㎝程度
    - 自走式
      - 本勾配；1/6以下
      - 傾斜の始まりと終わり；本勾配の1/2程度の緩和勾配
    - 車路の屈曲部　最小回転半径；全長12m程度の大型バス；12m程度
  - ホテル　フロントカウンター
    - 一般用の高さ；90～100㎝程度
    - 車椅子使用者用
      - （天板）高さ；70～75㎝程度
      - （下部フットレスが入る）高さ；60～65㎝程度
      - 奥行き；45㎝程度
  - 庁舎　ドアを開閉するための押しボタンスイッチの高さ
  - 図書館
    - 開架閲覧室；書架の心々
      - 車椅子使用者の通り抜け；165㎝
      - 車椅子どうしの通り抜け；225㎝
      - 書架＝45㎝
  - 便所/洗面所
    - 乳幼児用おむつ交換台の高さ　70㎝程度
    - ドアを開閉するための押しボタンスイッチの高さ　100㎝程度
    - 小便器　器具の心々
      - 一般健常者；70㎝程度
      - 高齢者等；90㎝程度
    - 手洗い器・洗面器
      - 相互中心間隔；800㎜以上
      - 高さ；750㎜程度
  - 乗用エレベーター
    - 複数台の配置
      - 横一列の直線配置；4台まで
      - 対面配置；8台まで
    - かごの内法寸法(定員 24人)　間口2,000～2,150㎜×奥行1,600～1,750㎜
  - 公共体育館
    - 成人用バスケットボールコート；二面配置　45m×35m程度
    - 硬式テニスコートネット；上部の天井高　ネット上部12.2m以上
  - 競技場
    - 観客席の固定座席
      - 座席の幅（1人分の間口）；45㎝
      - 前後間隔（椅子の背の間隔）；85㎝
  - 事務所ビル
    - 椅子に座ったときの視界を遮るためのパーティションの高さ；120㎝程度
    - 座ったままで見通しがきく高さ；110㎝程度
    - エレベーター
      - 複数台の配置
        - 横一列の直線配置；4台まで
        - 対面配置；8台まで
    - 会議室の広さ　2～3㎡/人
    - 共用廊下の有効幅　2.0m以上　バリアフリー/災害時の避難